

防音室一台

仕様書

令和2年6月

群馬工業高等専門学校

第 I 部 仕様書概要説明

1 調達背景及び目的

本物品は、音声および音声を含む映像等の収録、音声の聴取および音声を含む映像等の視聴を、暗騒音レベルが低く管理された環境下で実施するための物品である。

教育素材や研究発表など様々な場面において、映像や音声などのマルチメディア素材が幅広く活用されている。これらのマルチメディア素材を扱う技能については、工学に携わる技術者や研究者にとっての IT リテラシの一部になりつつある。モデルコアカリキュラムにおいても、「分野横断的能力」として「VIII-C 情報収集・活用・発信力」が位置づけられている。しかし、マルチメディア素材の準備は一般に多大な時間と労力を要する作業であり、効率的に作業が行える環境の整備が活用促進の鍵となる。本物品は、音素材を扱う上で「雑音」となりうる暗騒音レベルを低く管理することを可能とする。これにより、収録データの高品質化と編集効率化、および適切に管理された聴取環境下での音の聴取実験や映像の視聴実験などの外乱の少ない調査データ取得が可能となる。

本科の授業である「電子情報工学実験実習」のほか、「卒業研究」，「特別研究 I」，「特別研究 II」において使用することにより、情報収集・活用・発信力の素地となる音声メディアを適切に扱うことが出来る技術者の養成が可能となる。さらに、中学生対象の体験授業等に活用することで、地域貢献にもつながる。

2 調達物品名および構成内訳

防音室 一台

以上には、搬入、据付、配線、配管、調整を含む。

なお、詳細については、「第 II 部 調達物品に備えるべき技術的要件」に示す。

3 技術的要件の概要

- (1) 本調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は、「第Ⅱ部 調達物品に備えるべき技術的要件」に示すとおりである。
- (2) 技術的要件は全て必須の要求要件である。必須の要求要件は、本校が必要とする最低条件を示しており、入札物品の性能等がこれらを満たしていないと判定がなされた場合には不合格となり、落札決定の対象から除外する。
- (3) 入札物品の性能等が技術的要件を満たしているか否かの判定は、本校技術審査委員会が入札物品に係る技術仕様書を含む入札説明書で求める提出資料の内容を審査して行う。

4 その他

- (1) 提案する物品は、原則として入札時点で製品化されていること。入札時点で製品化されていない物品によって応札する場合には、技術的要件を満たすこと及び納入期限までに製品化され納入できることを証明する書面を提出すること。なお、これらの成否は技術審査による。
- (2) 提案に際しては、提案物品が本仕様書の要求要件をどのように満たすか、あるいはどのように実現するかを要求要件ごとに具体的かつ明確に記載すること。単に「できます」「提案します」といった回答や内容が不明確な場合には、技術的要件を満たしていないと判断する。なお、記載内容はカタログ等の添付資料によって裏付けること。提出された資料が不明確な場合は、要求要件を満たしていないとみなし不合格とすることがあり得る。
- (3) 提案資料等に関する照会先を明記すること。提案された内容等についてヒアリングを行う場合がある。
- (4) 導入時の作業日程は、本校と協議しその指示に従うこと。

第Ⅱ部 調達物品に備えるべき技術的要件

(性能, 機能に関する要件)

1 防音室一台は、以下の要件を満たすこと。

1.1 構造

1.1.1 移設可能なパネル組立工法による自立構造であること。

1.1.2 寸法は、外寸 2,730mm(±10mm)(長)×3,500mm(±10mm)(巾)×2,700mm(±10mm)(高)、内寸 2,370mm(±10mm)(長)×3,140mm(±10mm)(巾)×2,200mm(±10mm)(高) であること。

1.1.3 以下の遮音性能を満たすこと。

1.1.3.1 防音室本体で D-40 以上（開口部含む）であること。また、防振ゴムを使用した浮床工法であること。

1.1.4 以下の仕上げであること。

1.1.4.1 室内天井は、ジャージクロス仕上（吸音層部 55mm（±5mm））で、色は黒とする。

1.1.4.2 室内壁は、ジャージクロス仕上（吸音層部 55mm（±5mm））で、色は黒とする。

1.1.4.3 室内床は、タイルカーペット仕上で、色は黒とする。

1.1.4.4 室外壁は、ビニールクロス仕上で、色は担当者と打合せで決定する。

1.2 設備

1.2.1 以下の設備を有すること。

1.2.1.1 手動片開き鋼製遮音ドア 外寸 900 mm(±10mm)(巾)×1,950 mm(±10mm)(高)、内寸 750mm(±10mm)(巾)×1,800mm(±10mm)(高)を壁面に 1 箇所所有すること。表面仕上は、装飾シート仕上で、色は担当者と打合せで決定する。室内側には吸音層取付とし、色は黒とする。

1.2.1.2 防音室内部が視認できる F I X 窓(2 重ガラス：外枠 600mm(±10mm)(巾)×600mm(±10mm)(高)を壁面に 1 箇所所有すること。室内側木枠は装飾シート仕上で、F I X 窓内吸音層の色は黒とする。外側木枠の色は担当者と打合せで決定する。

1.2.1.3 配線ケーブル用の通線孔(遮音用クランク加工。有効開口 70Φ)を壁面に 1 箇所所有すること。

1.2.1.4 配線ケーブル用のコネクタパネル (BNC×4, RCA×4, XLR×8) を壁面に 1 箇所所有すること。

1.2.2 以下の電気・換気・空調設備等を有すること。

1.2.2.1 照明は防音室内に LED スポットライト 6 灯+配線ダクトレール 2 本(白熱灯 60W 相当)を 1 式灯有すること。

1.2.2.2 照明スイッチを外部壁面に 1 箇所所有すること。

1.2.2.3 コンセント (2P+E 付 2ヶ口) を 4 箇所所有すること。

1.2.2.4 防音換気用スイッチを外部壁面に 1 箇所所有すること。

1.2.2.5 防音室壁面にブレーカーボックスを 1 箇所所有すること。

- 1.2.2.6 防音換気（給排気：吸音ダクト仕様，自然給気，強制排気(換気扇)）を防音室天井裏に有すること。また，防音室内部天井面に吹出グリルを2箇所(給排気)有すること。1.1.3の遮音性能を損なわない換気システムを採用すること。
- 1.2.2.7 エアコン用コンセントを1箇所有すること。
- 1.2.2.8 防音室内に壁掛ルームエアコン（6帖用）1台を設置するため、冷媒管が通る穴の準備及び冷媒管設置後の穴のふさぎを行うこと。エアコンの設置工事は別途行う。
- 1.2.2.9 火災報知器1台を設置するため、配線用の穴の準備及び配線後の穴のふさぎを行うこと。火災報知器の設置工事は別途行う。
- 1.2.2.10 非常用ベル1台を設置するため、配線用の穴の準備及び配線後の穴のふさぎを行うこと。非常用ベルの設置工事は別途行う。
- 1.2.2.11 標示灯（文字は「使用中」）1台を鋼製遮音ドア上に取付し，防音室内照明器具と連動させること。

(性能，機能以外の要件)

1 設置条件等

- 1.1 本物品は，電子情報工学科棟3階メディア情報処理研究室に設置すること。
- 1.2 納入予定日，工事予定期間を事前に本校と打合せ，スケジュールに従い完了すること。
- 1.3 搬入，据付，配線，配管及び調整をする際は，本校の業務に支障をきたさないよう配慮し，本校と協議の上，その指示によること。
- 1.4 本校施設に損傷を与えないよう十分な注意を払うよう努め，必要があれば経路に養生等を施すこと。なお，本校の施設及び設備に損傷を与えた場合は，受注者側の費用で原状に復すること。
- 1.5 搬入，据付，配線，配管及び調整に必要な一切の経費は本調達に含むこと。
- 1.6 設置にあたり，機器の配置や一次側電源等について本校と協議の上，その指示によること。なお，本校で用意した現状の一次側設備以外の必要な設備があれば受注者が用意すること。

2 障害支援体制等

- 2.1 納入検査確認後1年間は，通常の使用による故障に対して消耗部品部分（実費）を除き無償で修理を行うこと。
- 2.2 不具合発生時，群馬高専または業者側の休業日を除き，通報後48時間以内に対応ができること。

3 その他

- 3.1 物品納入後に，本校担当者等に対して使用説明を行うこと。
- 3.2 日本語版操作マニュアルを2部提供すること。